

# エコプロダクツ2010

## 「ecoモビリティ」

### 報告書

財団法人 日本自転車普及協会



この事業は競輪の補助金を受けて  
実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp/>

# 目 次

エコプロダクツ2010概要	.....	1ページ
展示ブース／【財団法人日本自転車普及協会】	.....	2ページ
展示ブース／【散走】【日常から非日常】	.....	3ページ
展示ブース／【電動アシスト自転車】【冊子・チラシ】	.....	4ページ
ecoモビリティ・セミナー	.....	5ページ
自転車関連企画	.....	6ページ
来場者アンケート調査	.....	7ページ
ecoモビリティ総括	.....	13ページ



- 名称 : エコプロダクツ2010
- 会期 : 2010年12月9日(木)～11日(土)
- 会場 : 東京ビッグサイト
- 主催 : 社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 後援 : 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、  
社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人 経済同友会、日本商工会議所、  
東京商工会議所、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、  
日本貿易振興機構、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県 [順不同]
- 入場料 : 無料
- 出展規模 : 745社・団体 / 1,762小間 (2009年出展実績: 721社・団体 / 1,735小間)
- 出展趣旨 : エコプロダクツ展は消費財や産業資材、エネルギー、金融、各種サービスまで、  
あらゆる分野の環境配慮／環境貢献の製品やサービスを出展対象とし、低  
炭素社会を目指す、これまでの常識を転換する新しい環境技術・サービス、  
企業間連携、地域連携など、問題解決につながる新しいビジネスモデルを展  
示し、授業の一環として参加する次代を担う子どもたち約2万人を含む18万  
人を超える来場者を動員する、日本最大級の展示会である。  
財団法人日本自転車普及協会は、自転車に関する幅広い企業・団体の協  
力を得て、低炭素ライフスタイルの究極の交通手段である自転車の、日常か  
ら非日常のさまざまなシーンでの活用例や最新の開発状況、そして高齢社会  
への貢献まで、現状と可能性を実車とモデル、情報パネルを駆使して健全な  
活用のあり方を啓発する事業を、「ecoモビリティ／We have a Blue Balloon. 地  
球は夢と愛でふくらんだ青い風船」というコンセプトのもとに展開した。
- 来場者数 :
- | 日付        | 12月9日(木) | 12月10日(金) | 12月11日(土) | 合計       |
|-----------|----------|-----------|-----------|----------|
| 来場者数      | 61,915名  | 69,680名   | 51,545名   | 183,140名 |
| 前回(2009年) | 60,819名  | 67,985名   | 53,706名   | 182,510名 |

- 主な掲載メディア(エコモビリティゾーンのみ) :

掲載日	媒体名	内 容
平成22年11月1日	日刊自動車新聞	展示会告知とエコモビリティゾーン紹介
平成22年11月8日	日本経済新聞 夕刊	エコモビリティゾーン告知
平成22年12月2日	Goostyle自転車	財団法人日本自転車普及協会出展
平成22年12月7日	サーチナニュース	展示会告知とエコモビリティゾーン紹介
平成22年12月9日	日本経済新聞電子版	エコモビリティゾーン＆電動アシスト自転車体験紹介
平成22年12月10日	Business Media 誠	電動アシスト自転車コーナーの紹介
平成23年2月予定	BS-TBS	「銀輪の風」

## 展示ブース

（財団法人日本自転車普及協会）

本会が実施してきた事業について展示を行った。高齢者・障がい者向け自転車、省スペース型駐輪システムにおいては、実車モデルを展示したこともあり多くの方が興味を寄せていた。

## 本会の紹介

自転車工口通勤／自転車市民権宣言

## 高齢者・障がい者向け自転車

## コミュニティサイクル社会実験

少子化 ノ型駐輪システム

海外事例紹介



ベース全伝



### 高齢者・障がい者向け自転車 に試乗する方提携



## 高齢者・障がい者向け自転車(左)／ 省スペース型駐輪システム(右)



多くの市場者に日本を出ていたものが



財団法人 日本自転車普及協会

## 【散走】

自然を楽しみながら街をゆったりと自転車で「散歩」するエコで健康的な活用法【散走】を提案。

クルマの世界ではあたりまえになった自動変速装置付き、メンテナンスフリーの内装式11段変速機付き、ヨーロッパ仕様の電動アシスト付き試作モデルなど、最新のテクノロジーを盛り込んだ自転車でエコロジカルなライフスタイルのあり方を実車で展示。また、本格的なロードレーサー向けの電動ギアチェンジシステムも登場し、自転車にさほど関心がなさそうな来場者の多くが足を止め、担当者への熱心な質問攻めが終日途切れることはなかった。

○協賛企業：株式会社シマノ



## 【日常から非日常】

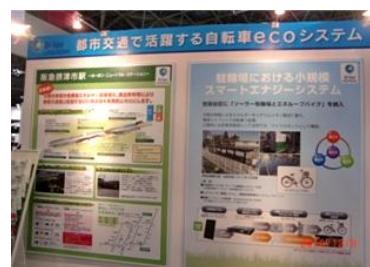
毎日の通勤通学や買い物などにエコと便利さを提供する鉄道駅の間を結ぶ阪急電鉄のレンタサイクルや、東京・世田谷区に三洋電機が納入した太陽光発電で電動アシストレンタル自転車を充電するシステムから旅先の行動範囲を広げつつ、旅の発見を見逃さないゆったりとしたスピードを快適に提供する「旅チャリ」システムまで、新しいライフスタイルを実車展示とパネルで詳しく解説。全国の観光地だけでなく、オーストラリアやハワイなどでも動き出した自転車活用を紹介した。

○協賛企業：

株式会社JTB首都圏(左下と中央下)

阪急電鉄株式会社(右下)

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社(右上)



## 【電動アシスト自転車】

自転車メーカー3社による最新の電動アシスト自転車の展示。ついにオートバイの年間販売台数を上回る人気を得た電動アシスト自転車の最新型を展示。軽快車タイプから子ども乗せ、小径車、折りたたみ車、クロスバイクに至るまで年々バリエーションが広がっている。今回初めてブレーキ連動の尾灯を標準装備した車種も登場。各社、エコで快適な走行性能とともに安全対策にも力が入っている。

パナソニックサイクルテック株式会社



ブリヂストンサイクル株式会社



三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社



国会議員も電動アシスト自転車を視察に訪れた。

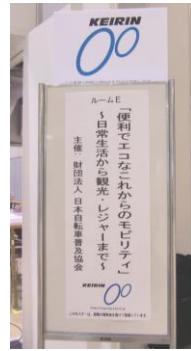
## 【冊子・チラシ】

本会が実施する事業の案内チラシや報告書などを設置。世界の自転車先進都市の最新情報をエコの視点で綿密に取材している専門誌『Green Mobility』は準備した3,000冊が最終日には払底する人気だった。○協賛企業：株式会社インタープレス



## 【同時開催セミナー】

テーマ : 「便利でエコなこれからのモビリティ」～日常生活から観光・レジャーまで～  
 日 時 : 12月10日(金) 13:30～16:00  
 会 場 : 東京ビッグサイト・西ホール特設会場  
 講演者 : 秋葉 武(立命館大学産業社会学部・准教授)  
 多賀一雄(NPO自転車活用推進研究会理事(京都サイクリングツアープロジェクト創設者))  
 上村正美(阪急電鉄(株)都市交通事業本部 都市交通計画部長)  
 主催者 : (財)日本自転車普及協会  
 進 行 : 絹代(サイクルライフナビゲーター)  
 小林成基/NPO自転車活用推進研究会 事務局長  
 参加者数 : 96人(定員100人)  
 ■基調講演 「自転車国家」を目指す韓国の挑戦…見えてくる日本の課題 講師:秋葉 武准教授



セミナー案内チラシ

## ■各地のエコモビリティ取り組み事例紹介

- 1)京都観光のエコモビリティ取り組み事例紹介:多賀一雄理事  
 2)駅から始まる「環境」「観光」「健康」:上村正美部長

## ●今回のセミナーを通じて見えてきたこと

- ・基調講演では、急激かつ大胆に国家的な規模で自転車政策を展開中の韓国の実情に詳しい秋葉武准教授が、具体的なデータと映像で解説。デンマークをモデルに自転車利用環境を整備している韓国では、李明博大統領の強いリーダーシップで省エネルギーと高齢化対策、そして新産業としての自転車業界の育成に乗り出している。国家戦略の必要性を指摘した。
- ・国際観光都市・京都で日本初の有資格通訳ガイドを起用する“ガイド付きサイクリングツアー”的実施や、自社オリジナルバイク・銀輪号を作製し、25万人以上の観光客のフットワークをサポートする多賀一雄理事は、ママチャリの対極にある自転車利用の新しい可能性を論じた。
- ・上村正美部長は、民鉄業界最大規模のサイクルビジネス(駐輪場、レンタサイクル)、日本初のカーボン・ニュートラルステーション「摂津市駅」での施策、沿線でのまち歩きイベントなど、「環境」「観光」「健康」をキーワードに駅を中心としたまちづくり、沿線づくりを進め、公共交通の利用促進を目指す阪急電鉄の取り組みを紹介した。

◆会場には企業や自治体、報道関係者や研究者も参加し熱気あふれるセミナーとなった。サイクルライフナビゲーターの絹代氏が、女性ならではの視点で議論をリード。自転車シーンはエコと女子の参入でますます幅広く展開していくことを実感させた。



## 【メインステージ・セミナー】

### ●チャレンジ25キャンペーン特別ステージ～「移動」を「エコ」に 『smart move』

12月10日（金）17:00～17:45

「smart move」の取り組みを進める企業・団体代表者らが出席し、それぞれが進めている事例を紹介。本会も自転車利用が移動においていかに有効であり、環境に良いかを実例を交えてPRした。

登壇者：環境省 寺田達志地球環境局長、（以下、自治体・企業・団体代表者）名古屋市／（財）日本自転車普及協会／（社）日本自動車連盟（JAF）／小田急電鉄（株）／オリックス自動車（株）／（株）JTB首都圏／全日本空輸（株）／阪急電鉄（株）特別ゲスト：鶴見辰吾氏（俳優・二代目自転車名人）



自転車こそ『smart move』と語る自転車普及協会の山本事業部長（右から2番目）



12月22日付の日本経済新聞朝刊・環境省「smart move」企画広告にも取り上げられた。

### ●自転車観光の魅力ー知らない街にでかけてみよう！

12月11日（土）11:00～11:45

疋田 智氏（自転車ツーキニスト）

■自転車で行く観光スポットや旅先での自転車活用術などを紹介。全国に広がる自転車専用レーン、専用道路の利点や改善点などをわかりやすく分類し、相互通行の危険性と左側走行の徹底を呼びかけた。



## 【電動アシスト自転車試乗会】

年々関心が高まり、前年比2倍以上の試乗会参加数となった。前年が雨天のため比較できない2日目の分を除くと、増加率は3割である。

○参加人数：

天候	試乗者数	(2009年)
12月9日（木）	晴天	194名 (161名)
12月10日（金）	晴天	315名 (雨天により中止)
12月11日（土）	晴天	256名 (178名)
3日間合計		765名 (339名)



○協力（五十音順）

三洋電機コンシューマエレクトロニクス（株）

（株）JTB首都圏

パナソニックサイクルテック（株）

ブリヂストンサイクル（株）

ヤマハ発動機（株）



## &lt; 調査概要 &gt;

調査目的：通勤・通学を中心とした自転車利用に関する実態・意識の把握ならびにブースに対する評価を確認する。

調査対象：エコモビリティーズンブース来場者

調査期間：2010年12月9日～12月11日

調査方法：対象者に調査票\*を渡し、回答者が自ら記入

回答者数：

	合計	男性	女性	回答なし
9日(木)	1,015名	643名	356名	16名
10日(金)	925名	679名	235名	11名
11日(土)	968名	625名	326名	17名
合計	2,908名	1,947名	917名	44名

(昨年:1,911名)

アンケート用紙に記載した「自転車市民権宣言」に賛同署名した人は2,282人に達した。

\*調査票はP12に掲載

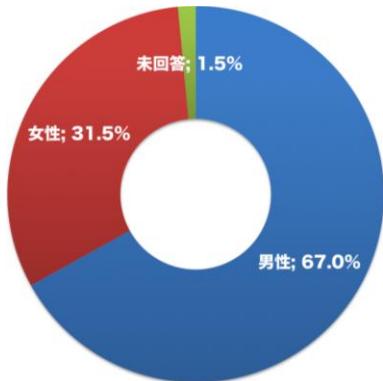


アンケート回答者には豪華賞品の当たる抽選会を実施

## &lt; 属性分析 &gt;

- 設問によって回答者数が異なる場合がある。
- SA:選択肢を1つ選ぶ設問
- MA:あてはまる選択肢を複数選ぶ設問

Q1 性別 (SA) n=2,908



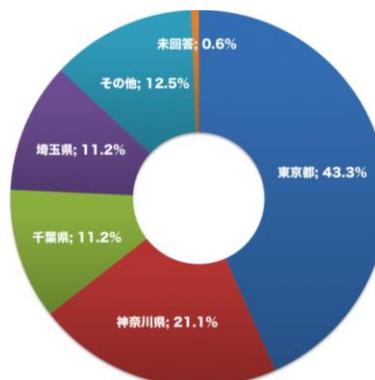
昨年と傾向は似ているが、女性が1ポイント増えており、自転車女子らしい来場者も目についた。

Q2 年代 (SA) n=2,905



各年代が満遍なく来場している。

Q3 居住地 (SA) n=2,907



自転車の健全な利用について訴求していく上で、小中学生・高校生への啓発が大切となる。学校が積極的に幅広い教育機会を提供することが重要。アンケートへの回答で見ると、地域によって環境意識を高めようという意欲に差が見られる。居住地別の全回答者数に占める10歳代の回答者は、

埼玉県 18.8%

神奈川県 17.8%

東京都 16.0%

千葉県 12.2%である。

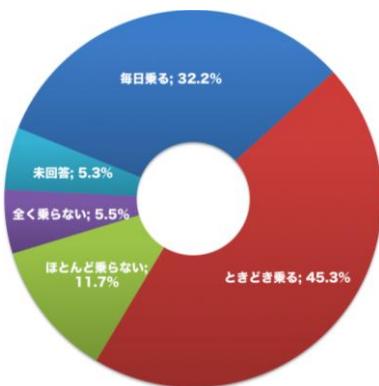
Q4 職業 (SA)

n=2,912 (一部複数回答あり)

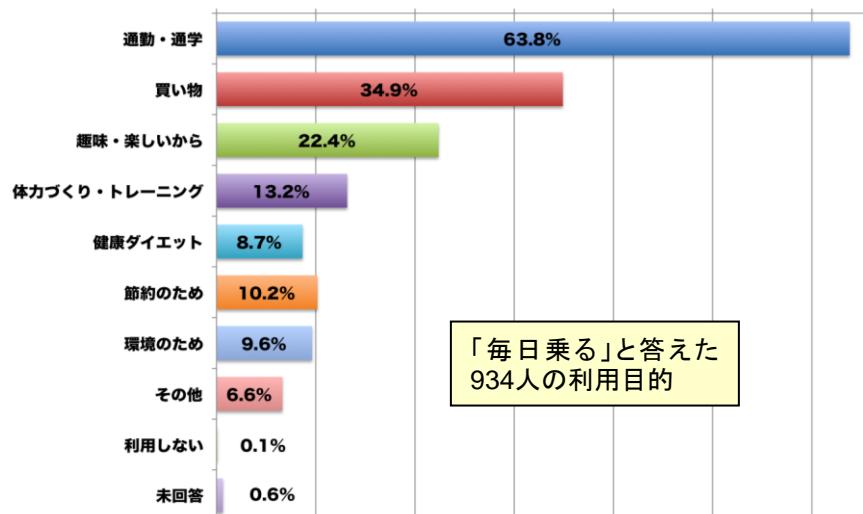


学生の多くは授業の一環として来場した小中学生である。

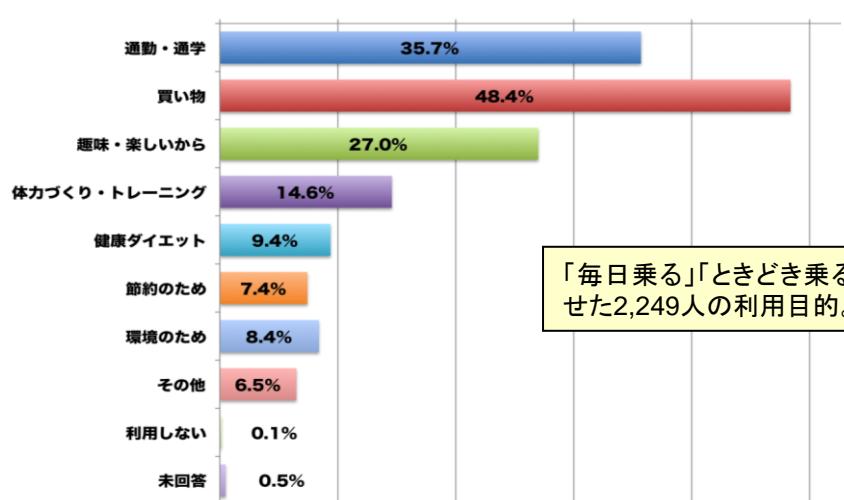
Q5 普段、自転車に乗っていますか？(SA) n=2,904 + Q6 自転車を利用する目的はなんですか？(MA)



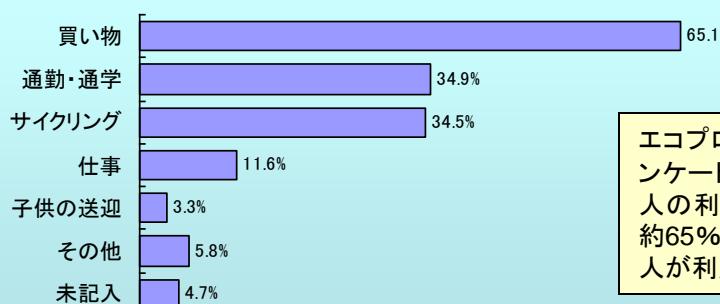
「毎日乗る」「ときどき乗る」を合わせると77.5%の高率となる。



「毎日乗る」と答えた934名に利用目的を聞くと、「通勤・通学」の利用が6割を超えたが、「毎日」と「ときどき」を合計(下表)すると「買い物」が逆転した。昨年の同種の調査(下表)と比べると、「買い物」比率が下がっている。前年の「サイクリング」に相当する選択肢は「趣味・楽しいから」と「体力づくり・トレーニング」と「健康ダイエット」であるが、この3つの回答を重複を避けて集計すると889名、39.5%となり、前年の34.5%から5ポイント急伸している。このことから、自転車の利用が健康づくりや趣味の分野に拡大してきていることが読み取れる。



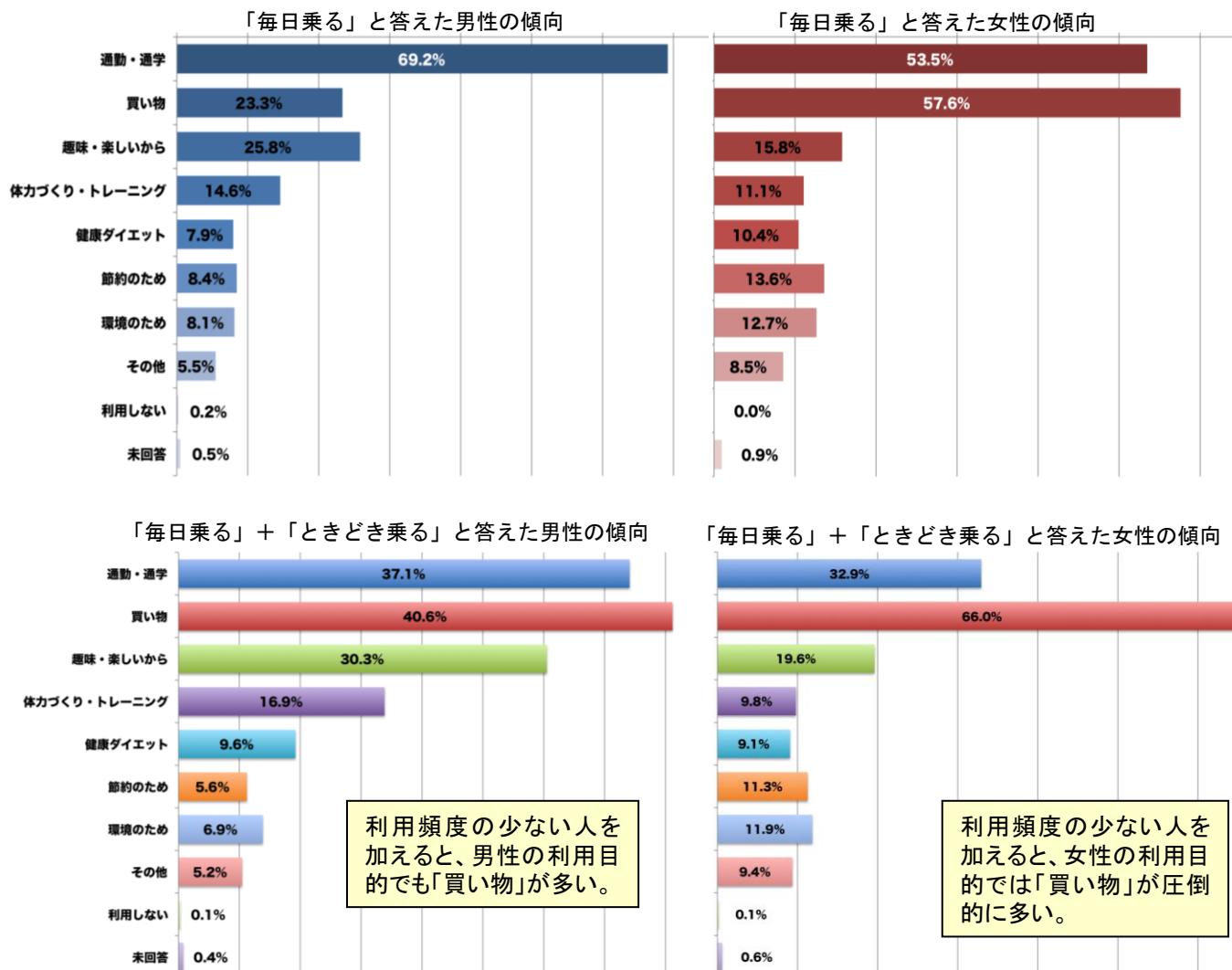
【参考：2009年調査】



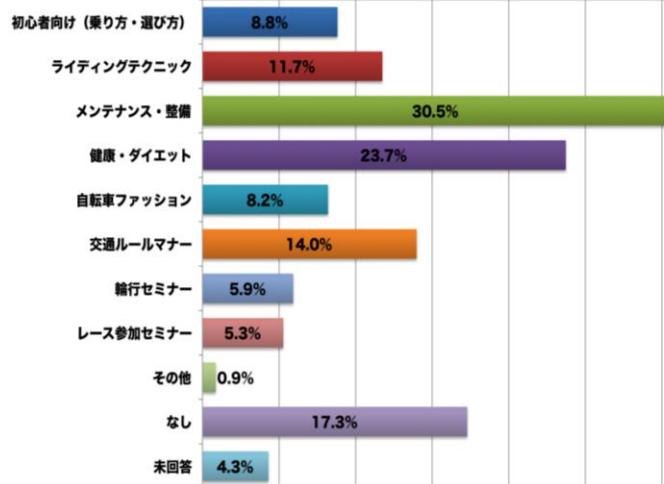
エコプロダクツ2009で採取した1,624人のアンケートで、月に2回以上自転車を利用する人の利用目的を聞いた結果は、「買い物」が約65%と最も多いが、「通勤・通学」も3人に1人が利用している状況であった。

## アンケート結果と分析・3

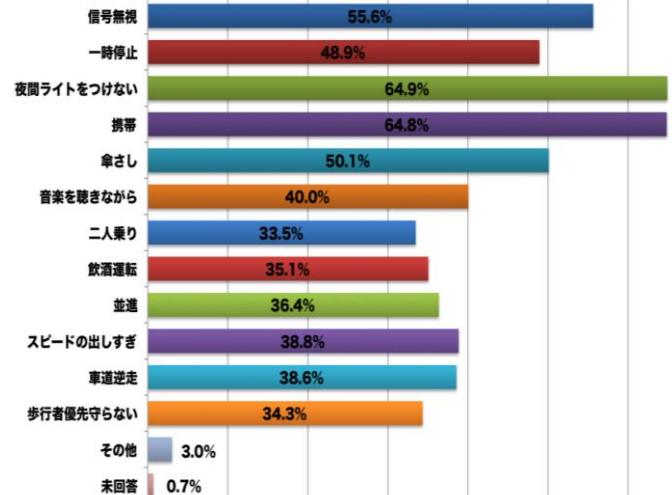
「毎日乗る」と答えた人の男女別の傾向を見ると、男性の「通勤・通学」での利用比率がきわめて高いことがわかる。女性の場合も「買い物」に匹敵する数の「通勤・通学」目的の利用が多くなってきている。



### Q7 参加したい自転車セミナー・講習会は？（2つまで）



### Q8 危険を感じる自転車の乗り方は？(MA)

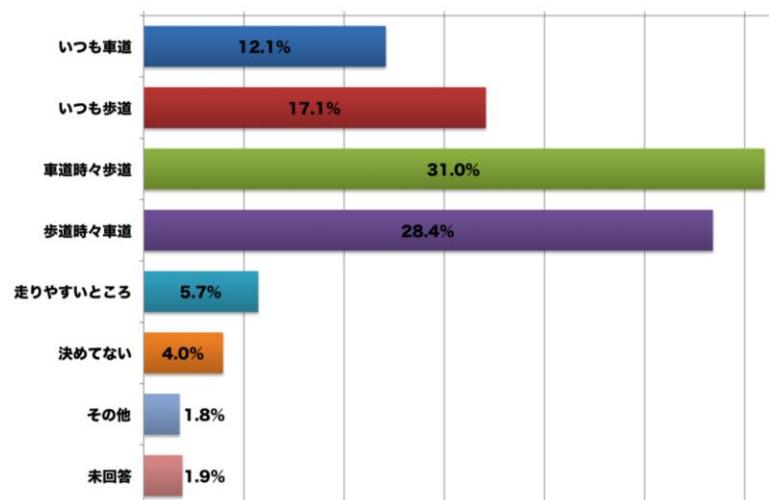


## Q9 自転車に乗るとき歩道のある道路ではどこを走っていますか？(SA)

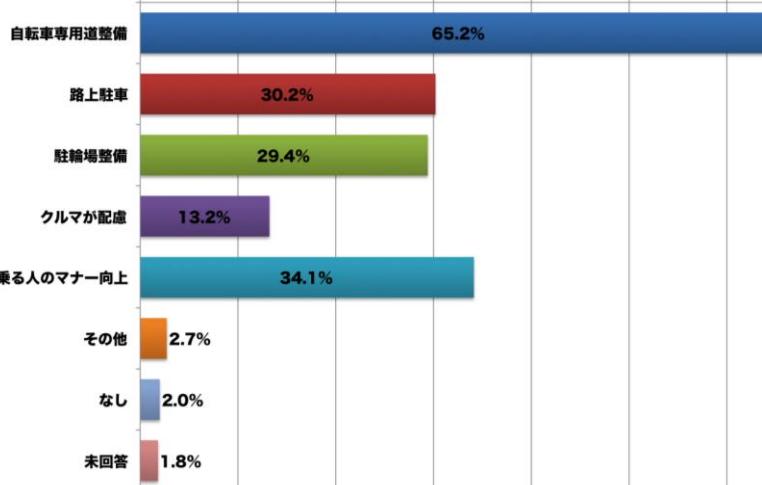
Q7 自転車について学びたいことは「整備」で3人に1人が挙げている。正しい手入れの方法について周知が必要であることがわかる。

Q8 危険と感じる自転車の乗り方については、多くの人が理解をしている。一方で、Q9に見られるとおり車道通行の原則を守ることができない実態がある。

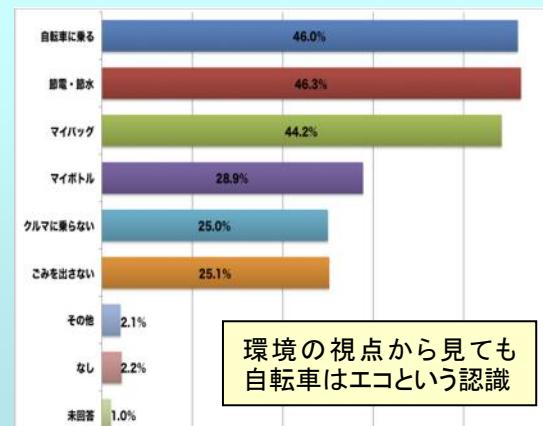
Q10 自転車の走行空間が求められており、路上駐車があるために車道走行が困難で、駐輪場が不足している現状も見て取れる。クルマ優先の既成概念は根強いが、自転車のマナーを向上させることができ自転車市民権獲得の前提と考える人が多い。また、Q11で誰にでもできる環境貢献の手段として自転車が認識されてきており、啓発活動が成果を上げつつあることもわかる。



## Q10 自転車利用の環境について、不満や改善してほしいことは？(MA)



## Q11 環境のために、普段心がけていることは？(MA)



## アンケート・コメント集・1(アンケートに記されたコメントのごく一部を紹介します)

## ●展示ブースについて

- 「競輪」というと、日常縁もなく、とっつきにくいイメージだが、エコブロの展示は入りやすくて、「競輪」の売上でこんな貢献(イメージアップ)出来るんだと感心しました。
- いろいろと見れて良かった。
- エコを感じました。
- これからはなるべく自転車にのるようにする。
- とてもいいアンケートで今後いかしてほしい。
- とてもおもしろかった。
- とてもスタイリッシュな電動自転車が多く、乗ってみたいと思った。
- とてもわかりやすかった。
- とても勉強になりました。
- とても良い運動ですので、広がれば素晴らしい。
- ブースに実際に自転車が置いてあつたりして非常にわかりやすかった。もっと自転車に乗りたい！
- レンタサイクルが結構たくさんの場所で行われていることにびっくりした。

- 楽しく乗りたくなりました。
- 環境ゼミしていますので、取り組みには大賛成です。
- 興味深く拝見しました。次回も是非参加してください。
- 高齢者・障がいを持つ方への自転車というものを初めて見ました。ブレーキ位置など、利用する方のことをよく考えた配慮がされていることに魅力を感じました。
- 自転車ライフをもっと広めてほしい。
- 自転車普及活動を応援しています。
- 大切な事だと思う。
- 展示がきれいで良かった。
- 旅チャリはおもしろそうですね。

## ●自転車大好き

- 自転車に乗る事は体づくりにもよい。
- 自転車に乗れるようになつたら、車より利用したいです。
- 自転車はエコな乗り物なのでこれからも乗りたい。

## ●エコと自転車について

- ・エコ量が表示される自転車がほしい。
- ・きれいな空気のところで自転車に乗りたい。
- ・これからも自転車をつかってエコにしてほしい。
- ・もっと自転車を活用します。
- ・一家揃って自転車に乗り換えました。
- ・一人一人がエコを考えて行動したらもっと住みやすい世界になると思う。

- ・環境・健康のために自転車に乗る人が増えるといい。環境に優しい人が増えることを期待します。
- ・簡単なエコ活動の為、安い製品が良い。
- ・自転車などのリサイクルをやると地球にやさしい。
- ・自転車に乗ることで環境の影響を少なくし健康のためにもなるならば自転車で移動することを心がけたいと思った。
- ・自転車は、エコな乗り物なので、もっと普及に力を入れて欲しい。
- ・自転車は乗ってると楽しいので楽に乗れる自転車を作ってほしい。

## ●セミナーについて

- ・インターネット生中継も見たかったです。(残念)
- ・セミナーを全国で定期開催してほしい。
- ・自転車と車の人がお互いにどんな動きをするのか講習があるといと常におもってました。

- ・自転車を楽しむセミナーの機会を増やしてほしい。
- ・講師の1人が電動自転車に否定的なのが不思議でした。自転車の活用が広がるならポリシーは不要です。チャリが差別語だとは今は誰も知らないと思います。普通に使います。放置自転車の活用も大切なはずです。阪急さんの話は非常に参考になりました。

## ●自転車道・レーンについて

- ・サイクリングロードを整備して欲しい。荒川、多摩川等は人と交錯する箇所が多く危ない。
- ・マナーの向上と道路整備は、並行して進める必要があると思う。
- ・リカンベント自転車を試乗したい。道のガタガタを直して欲しい。
- ・安全に走行できる道路整備を急いでほしい。
- ・欧米並みに自転車レーンを車道に整備してほしい。
- ・海外にある自転車専用レーンがあると、走りやすいし、通学に使いたくなります。
- ・交差点の歩道での待機場を広げて欲しい。
- ・交通量の多い車道や狭い歩道の場所でも安心して乗る事のできるスペースを希望します。
- ・高速道路にも自転車レーンを！
- ・自転車が走れるよう車道を広くして欲しい。
- ・自転車と歩行者の完全分離。
- ・自転車のレーンは車道側につくり、段差をなくし、歩行者が判断しやすい様に分けて欲しい。
- ・自転車のレーンを車道側に作って欲しい。段差を無くして欲しい。
- ・自転車レーンがない大きな車道は、こわくて車道にでられません。整備されると嬉しいです。
- ・自転車レーンが活用されていない。
- ・自転車専用レーンの充実。

- ・自転車専用レーン等、自転車スポーツ振興をお願いします。
- ・自転車専用道を整備して欲しい。
- ・自転車専用道路でないと行く手に物があり、人とぶつかる可能性がある。
- ・自転車専用道路の早期実現を！！！！！
- ・車道のコンクリートの接目に段差があつて危ない。
- ・車道を走っているといつも恐いと思う。都心や生活道路を自転車が安全に走れるように整備してほしい。
- ・多摩自転車道「自転車道」なのに歩行者が並んで歩いているので、自転車が乗りづらいです。歩行者のマナーも…
- ・多摩川自転車道、夜はライトを付けてほしい。行きは使えても帰りは暗くて怖い。
- ・通行帯のある歩道との段差解消。
- ・通路整備にいいアイデアないですかね。改革社会実験をするならエリアがクローズした淡路島でお願いします。
- ・電柱や段差をなくし道路をもっとフラットにしてほしい。
- ・二人乗りできる自転車が欲しい。体力のない人を乗せるため。
- ・日本は土地が狭いので自転車専用道路を作るのは難しいかと思いますが環境のために推進したいですね。
- ・歩道と車道の段差をなくして欲しい。
- ・路肩をキレイにしてほしい。

## ●製品としての自転車について

- ・デザイン性の高い製品作りをお願いします。
- ・バランスのとりやすい自転車がほしい。
- ・ブレイブボードのように軸をひねって進むチャリがほしい。
- ・ママチャリではなく、もっとしっかりした自転車を普及して欲しい。
- ・安い古い自転車の放置が街のいたるところにあるのでしっかりした丈夫なものだけを取り扱ってほしい。
- ・安く性能の良い日本のメーカーの自転車がもっとあれば。
- ・三輪のかわいいアシスト自転車、出来れば小雨でも乗れるもの。
- ・子供のせの自転車の価格が高い。特にアシスト付き。
- ・自転車のサドルを楽にさげるようにしてほしい。

- ・自転車をずっと欲しかったがなかなか理想のものに会えなかった。
- ・自転車屋さんが減ったなあと思う。メンテなどに困る。
- ・自転車好きですが、坂道が多くて乗っていません。
- ・乗りやすく丈夫な自転車をこれからも作ってほしい。
- ・全ての自転車に最初からライトをつけてほしい。
- ・電動自転車に初めて乗りましたが、とても乗りやすかったです。
- ・電動自転車の使い心地が気になります。
- ・電動自転車の低価格をめざしてほしい。
- ・電動自転車をもっと普及して頂きたい。

## ●駐輪について

- ・タイヤの空気補充が駐輪場にあればよいと思う。
- ・バス停に駐輪場を作るか、バスに自転車を乗せられるようにして欲しい。
- ・ロードバイクが停められる駐輪場を造って欲しい。
- ・駅の近くにもっと多く駐輪場を造って欲しい。
- ・駅の無料駐輪を増やしてほしい。
- ・街の駐輪場整備を願います。貸し自転車(ポイント間の乗り捨て)が普及することがECOにつながると考えてます。

- ・市内の駐輪場を整備する。公園等に自転車の専用レーン等を設置して安全に利用できるようにする。
- ・自転車の駐車場が無料でないのでやってほしい。
- ・集合住宅に駐輪場を必ず造る様になれば良いと思う。
- ・駐輪違反の金額が高すぎる。
- ・駐輪場が便利な所に少ない。料金をもっと安くして欲しい。

## ●自転車の活用について

- ・コペンハーゲンや日本のいくつかの都市で有料でも実施中の「乗り捨て」が増えて欲しい。
- ・サイクリングロードのトイレ。
- ・トレイン＆サイクルをもっと気軽にできると良いですね。
- ・バス・電車に持ち込みたい！
- ・パンクした時に困ったりするので整備点検の利便性の向上があると良い。
- ・レンタサイクルはたまに利用しています。目的地が駅から遠いときなどに便利なので重宝しています。
- ・レンタサイクル充実。
- ・雨の日用の屋根付自転車なんかあつたら良いなあと思う。

- ・雨天の時の雨具。
- ・駅前等にレンタサイクルが増えたらもっと利用するのにと思う。特に車が駐車しにくい場所など。
- ・街中に充電できる場所があるとよい。
- ・観光地各地にレンタルサイクルあるようになる事を期待したい。
- ・行政内でレンタルサイクル(登録により自由に乗れたり、指定駐輪場に返却出来るシステム)を充実させてほしい(特に東京都内)。
- ・早朝の新聞配達には、電動自転車を使って欲しい。
- ・電車や観光バスに自転車を載せたり、積んだりして欲しい。
- ・廃自転車回収制度があるとよいと思います。
- ・無料空気入れやメンテナンス場所の運営。

## ●自転車政策について

- ・アシスト自転車シェアリング。自転車で買い物に来た人へのポイント付与など、自転車利用促進する施策が欲しい。
- ・もっと自転車に優しい国になって欲しい。
- ・ヨーロッパ並みに自転車の復権を。
- ・自転車に乗る人の為の環境をもっと整えて欲しい。それは、自然にも人も良い影響を与えるはずです。
- ・自転車に保険と免許を義務付ける。
- ・自転車の市民権が低いと思う。
- ・自転車は、非常に便利な移動手段ですので、国・地方自治体により一層の環境整備をお願いします。
- ・自転車保険の整備。
- ・他国の様に自転車、自動車、歩行者レーンの完全区別。今は中途半端で、どこを走れば良いのか判断に困るし、マナーも悪くなる。

- ・自動車からも歩行者からも邪魔扱いされる自転車ですが、どうすれば地位向上が図られるのか。自転車のマナー向上だけでは、困難だと思います。普及のみならず存在自体を認められ、自転車乗りを歓迎してもらいたい。
- ・東京の歩道は、人口または自転車利用増で狭くなっている。都市の在り方を変えていかなくては。
- ・盗難防止策を考えて欲しい。警察官の窃盗チャリ尋問は腹が立つ。
- ・当節、各自治体が積極的に自転車政策を取り入れているが、その成功例、最新事例を詳しく聞きたい。
- ・日本は、自転車の利用が多いのに空間の整備、ルール・マナーの教育が遅れているので、その辺を重点に取り組んで欲しい。
- ・日本はまだまだ車社会なので、自転車は肩身が狭い。

## ●ルール・マナーについて

- ・とにかくマナー向上、ルール順守につきる。自転車メーカーは自主的に回収しリサイクル活動をしてほしい。ごみとなっている自転車をなんとかしてほしい。
- ・まず安全運転の制度づくりから！
- ・ルール講習を義務化してほしい。
- ・ルールを守らせる免許制にしてはどうか。
- ・安全走行のための小学生の乗り方ルールマナーの教育。
- ・音楽をききながら運転する人が子連れだととてもこわい。骨伝導かなんかで耳をさがしないような聞き方になればいいのに。
- ・自転車がヨーロッパのように文化としてきちんと成り立つよう、社会の環境、乗り手のマナーをしっかり構築していかなければと思う。
- ・自転車がわが者顔で走らないでほしい。
- ・自転車だけでなく、車、歩行者の交通ルールの順守。
- ・自転車は車道を走ればいいのか歩道を走ればいいのか未だにわからない。
- ・自転車も“車”と同じに、“車両”であることを、運転する人は認識を持ってほしい。
- ・車道を行くべきと分かっていても危ない。
- ・車道を走っていると幅寄せをして文句を言うドライバーがいる。
- ・車道を走らないで欲しい。
- ・道交法上で規定されている以上、マナー云々ではなく、取り締まりを厳しくすべし＆講習会も自治会レベルで日々行う。
- ・警察官も車道を走れ！
- ・歩道走行中通行人にペルをならさないように呼びかけているが鳴らした方がよい。歩行者の行動は予想がつかない(本来自由に歩いているから)。これから自転車が通りますよと知らせた方がよい(経験から得た実感)。ただし自転車の走る速さはゆっくりと。
- ・法の周知、マナー向上、自転車保険への加入を！
- ・法整備と取り締まり。
- ・夜間のライトの義務。
- ・スピードの出しすぎ(特に後方から)。
- ・車道の逆走などで、危険な思いを何回もしました。本当にやけてくれず、怖い思いをしました。
- ・信じられない事に無灯火、右側通行を交通違反と思わない高齢者が多く危険を感じる毎日なので、交通ルールを普及させてほしい。

## 「自転車市民権宣言」賛同署名欄付きの調査票

自転車に関するアンケート									
Q1 性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性	Q2 年代	<input type="checkbox"/> 10～10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代	<input type="checkbox"/> 60代～
Q3 住まい	<input type="checkbox"/> 東京都	<input type="checkbox"/> 神奈川県	<input type="checkbox"/> 千葉県	<input type="checkbox"/> 埼玉県	<input type="checkbox"/> その他( )				
Q4 職業	<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 自営業	<input type="checkbox"/> 事業者・役員	<input type="checkbox"/> 自由業	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> その他( )		
Q5 普段、自転車に乗っていますか？	<input type="checkbox"/> 毎日乗る	<input type="checkbox"/> ときどき乗る	<input type="checkbox"/> ほとんど乗らない	<input type="checkbox"/> 全く乗らない					
Q6 自転車を利用する目的はなんですか？	<input type="checkbox"/> 通勤・通学 <input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> 健康・楽しいから <input type="checkbox"/> 体力づくり・トレーニング <input type="checkbox"/> 健康・ダイエットのため <input type="checkbox"/> 節約のため <input type="checkbox"/> 環境のため <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 利用しない								
Q7 参加したい自転車セミナー・講習会はありますか？(2つまで)	<input type="checkbox"/> 初心者向け(乗り方・選び方) <input type="checkbox"/> ライディングテクニック <input type="checkbox"/> メンテナンス・整備 <input type="checkbox"/> 健康・ダイエット <input type="checkbox"/> 自転車ファッション <input type="checkbox"/> 交通事故・マナー <input type="checkbox"/> 車両セミナー <input type="checkbox"/> レース参加セミナー <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 口なし								
Q8 危険を感じる自転車の乗り方ありますか？(いくつでも)	<input type="checkbox"/> 信号無視 <input type="checkbox"/> 一時停止・安全確認しない <input type="checkbox"/> 路面・ライン、ライを跨げない <input type="checkbox"/> 携帯電話を使用しながらの走行 <input type="checkbox"/> 伞さし運転 <input type="checkbox"/> 音楽を聴きながら運転する <input type="checkbox"/> 二人乗り <input type="checkbox"/> 飲酒運転 <input type="checkbox"/> 口笛と話しながら並走する <input type="checkbox"/> ポートの出しきり <input type="checkbox"/> 車道を逆走 <input type="checkbox"/> 行き止りを守り切れない <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 口なし								
Q9 自転車に乗るとき、歩道のある道路では、どこを走っていますか？(1つのみ)	<input type="checkbox"/> いつも歩道 <input type="checkbox"/> ほとんど歩道・ときどき車道 <input type="checkbox"/> ほとんど歩道・ときどき歩道 <input type="checkbox"/> 走りやすいところを走る <input type="checkbox"/> どくに決めてない <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 口なし								
Q10 自転車利用の環境について、不満や改善してほしいことはありますか？(いくつでも)	<input type="checkbox"/> 自転車専用道路(自転車レーン)を整備してほしい <input type="checkbox"/> 車の路上駐車をなくしてほしい <input type="checkbox"/> 駐輪場を造ってほしい <input type="checkbox"/> 車が自転車に配慮してほしい <input type="checkbox"/> 乗る人のマナー向上 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 口なし								
Q11 環境のために、普段がけていることはありますか？(いくつでも)	<input type="checkbox"/> 自転車に乗る <input type="checkbox"/> 節電・節水 <input type="checkbox"/> リサイクルを使う <input type="checkbox"/> マイボトルを使う <input type="checkbox"/> 車に乗る機会を減らす <input type="checkbox"/> ごみを出さない <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 口なし								

自転車市民権宣言に賛同ください!!						
1. 私たちは、車両の仲間として左側通行を守ります。 2. 私たちは、歩行者を尊重します。クリスマスなどに歩道を走ります。 3. 私たちは、ルールを尊重します。いつも一時停止して安全を確保します。 4. 私たちは、ヘルメット着用につとめ、夜間にライトを点灯し、万一のために保険に加入します。 5. 私たちは、自転車を正しく管理し、決して放棄しません。 6. 私たちは、自転車に高い安全性を求めて、安全を維持する装置を設けます。 7. 私たちは、ドライバーが自転車も車道を走る仲間として認識することを求めます。 8. 私たちは、安全快適に走ることのできる道路の整備と安全な連絡を育む遵守法駐停車の排除を求めます。 9. 私たちは、便利で簡単やさしいすらの自転車の確保と、シャワーや蓄電ができる施設の整備を求めます。 10. 私たちは、自転車の「市民権」確立のため努力します！						
ご署名: _____ イベント案内をご希望の方は、Emailアドレスをご記入ください。 (いただいたい個人情報は、本以外に使用することはあります。)						
E-mail: _____						

クルマを運転しなくなった高齢者の6割以上が移動手段として自転車を選択<sup>\*1</sup>するといわれている。また、21世紀に入ってからの原油価格の高騰で不要不急の車の使用が減りつつあり、人力による緩速交通の重要性はますます高まりつつある。一方で、自転車の誤った使い方や走行空間のわかりにくさなど、教育や制度不徹底な状態や、まちづくり政策の不備などが問題として顕在化している。

(財)日本自転車普及協会では環境に優しく、CO<sub>2</sub>を排出しないすぐれた乗り物であり、今後、様々な社会生活において活用が期待される自転車を広くPRし、機械工業振興に資するため、地球温暖化防止と持続的な社会の実現を目指とする、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」に展示出展を行った。

本会は主催である日本経済新聞社をはじめ、NPO自転車活用推進研究会、自転車及び自転車関連メーカー各社、自転車関連サービス事業各社と連携し「便利でエコなこれからのモビリティコーナー」への出展を行い、低炭素交通の典型例である自転車の最新情報及び、環境配慮型活用の実例や海外事例を紹介するとともに、本会が実施している自転車ニーズに応えるための調査研究の成果も展示。また、隣のブースにおいては(社)日本交通計画協会が低炭素時代の公共交通機関として注目され、欧米では自転車との組み合わせで都市交通として導入が進みつつあるLRT(Light Rail Transit)についても紹介し、来場者に新しいエコなモビリティの未来像を具体的に示すことができた。

また、企画展示に加えて、自転車活用をテーマとしたセミナー「便利でエコなこれからのモビリティ」～日常生活から観光・レジャーまで～を開催。隣国・韓国における意欲的な自転車活用事例や、京都におけるガイド付きサイクリングツアーや事例、民間鉄道事業者が沿線住民及び鉄道利用者への利便性提供と、サービス付加価値増大のために積極的にサイクルビジネスを展開する事例などを紹介。その後のパネルディスカッションでは、こうした先進的な事例の実現に伴う課題を探りながら、わが国における有効な自転車の活用に関して熱心な議論が繰り広げられた。

その他にも最新電動アシスト自転車の試乗会・展示会、エコプロダクツメインステージにおいては自転車トークショーや、本会も趣旨に賛同している環境省主催“チャレンジ25キャンペーン「smart move」”のトークショーに参加し、エコな移動手段の代表格である自転車の活用事例を紹介し、来場者の関心を喚起することができた。

開催期間中は本会ブース内にてアンケート調査、自転車市民権宣言署名活動を実施。今回は「環境」がメインテーマであるイベントにふさわしく、通勤・通学、買い物といった「エコな交通手段」として利用されている方から多く意見を集めることができた。アンケートに寄せられたコメントでも自転車レーンの設置、道路上の段差の解消など、快適に利用したいが故の要望が多く寄せられ、自転車の乗用環境について考えている人が多いことが把握できた。関連して「自転車のルール・マナー」改善についての意見もあり、利用者によるルール・マナーの正しい認識が不足している現状も浮き彫りにすることことができた。

現在、様々なメディアで自転車を取り上げていることもあり、都心での自転車活用、自転車と公共交通機関との連携が必要であるとの意見も多く、自転車の今後の活用について大きな可能性を見出すことができた。また、「自転車市民権宣言」への署名については2,282名の方にご賛同いただき、来場者の自転車に対する期待度の高さを伺うことができた。

自転車が近未来における都市の重要な移動手段であることが、ようやく国民の間に浸透しつつあり、その役割が見直されてきている。しかし、その多様な活用のあり方、また、健全な利用についての認識をさらに高めていくためには、まだまだ啓発の必要があり、自転車の交通ルールに対する人々の認識不足を是正していくためには国、自治体、関連企業などと連携を取り、早急な活動の拡大が必要であることを強く感じた。今後もあらゆる機会を捉え国民生活のより安全で快適な、そして健康や環境に寄与する自転車の活用について、精力的に自転車業界が一体となり事業に取り組んでいきたい。

注釈\*1:国際交通安全学会Vol.22 No.2・1996/9発行「生活構造から見た高齢者交通政策への提言」——運転引退のプロセス——鈴木春男／自由学園最高学部長・千葉大学名誉教授・1962年東京大学文学部社会学科卒。65年同大、学院社会学研究科博士課程中退後、東京大学文学部助手。千葉大学専任講師、助教授を経て83年文学部教授。2003年千葉大学退官後、自由学園最高学部長。千葉大学名誉教授。(財)国際交通安全学会2003年理事。



エコプロダクツ2010 「ecoモビリティ」 報告書  
平成23年2月  
財団法人日本自転車普及協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3  
<http://www.bpa.j.or.jp/>  
(無断転載を禁じます)